

## 雷桜 (2010)

メディア 映画  
ジャンル 時代劇 ロマンズ  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 133分  
初公開日 2010/10/22  
公開情報 東宝  
映倫 G

## 【キャッチコピー】

女は、恋さえ  
知らなかった。

男は、愛など  
信じなかった。

美しくも奇妙なその桜が、二人の運命を変えた。

## 【解説】

宇江佐真理の同名時代小説を「ホノカアボーイ」の岡田将生と「百万円と苦虫女」の蒼井優主演で映画化。江戸時代の山あいの村を舞台に、ある事件が原因で深い山の中で野性的に育てられた奔放な少女と將軍の血を引く孤独な青年が繰り広げる身分を越えた純愛とその顛末を描く。監督は「ヴァイブレーション」「余命1ヶ月の花嫁」の廣木隆一。

將軍家に生まれ、重い宿命を背負いながらも心に病を抱えて生きる孤独な若い殿様、清水齊道。家臣・瀬田助次郎が語る“故郷の瀬田村には天狗がいる”という話に興味を持ち、静養のため瀬田村へと向かう。道中、“天狗の棲む山”にさしかかると、家臣の制止を振り切り、ひとり山へと馬を走らせる齊道。そこで出会ったのは雷という山育ちの若い娘だった。天狗の正体が雷と知り、そのことを助次郎に話したところ、助次郎は乳飲み子の頃に藩の政争に巻き込まれ掠られた妹の遊に違いないと確信する。晴れて村に戻り齊道と再会する雷。身分がどういふものかも分からないことで殿様相手にも心の赴くままに接していく雷だったが…。

## 【クレジット】

監督	廣木隆一
プロデューサー	平野隆
共同プロデューサー	岡田有正
	福島聡司
アソシエイトプロデューサー	幾野明子
	石黒研三
	八尾香澄
原作	宇江佐真理
脚本	田中幸子
	加藤正人
撮影	鍋島淳裕
視覚効果	橋本満明

『雷桜』（角川書店刊）

美術	部谷京子		
編集	菊池純一		
音楽	大橋好規		
音楽プロデューサー	桑波田景信		
主題歌	舞花		『心』
照明	豊見山明長		
録音	深田晃		
衣裳デザイン	黒澤和子	Kzuko Kurosawa	
助監督	宮城仙雅		
スーパーバイジングプロデューサー	久保田修		
出演	岡田将生		清水斉道
	蒼井優		雷／遊
	小出恵介		瀬田助次郎
	宮崎美子		たえ
	和田聰宏		瀬田助太郎
	須藤理彩		お初
	若葉竜也		榊原秀之助
	忍成修吾		今泉鉄之助
	村上淳		鹿内六郎太
	山本浩司		
	安藤玉恵		
	河井青葉		
	佐藤佐吉		
	森下能幸		
	柄本時生		
	坂東工		
	池口十兵衛		
	松井晶熙		
	斎藤歩		
	高良健吾		友蔵
	柄本佑		茂次
	ベンガル	Bengaru	早坂門之助
	大杉漣		高山仙之介
	柄本明		榎戸角之進
	斎藤工		
	池畑慎之介		田所文之進
	坂東三津五郎		徳川家斉 (特別出演)
	時任三郎		田中理右衛門